

会 議 録

(6-1)

会議の名称		令和8年度 第1回春日部市健康づくり推進審議会	
開催日時		開 会	午後1時30分
		閉 会	午後2時15分
開催場所		春日部保健センター 講習室	
議長(会長等)氏名		北畠 義典	
出席者	委員氏名	(出席人数：10人)	
		北畠義典、竹田広樹、村田睦剛、榎本恵子、中山由紀、	
		宮武佐治子、樋口京子、樺田正俊、鈴木由美、坂牧光義	
	説明者 その他	(出席人数：2人)	
		健康保険部次長（兼）健康課長 舟田由彦	
		健康課健康づくり担当主査 大橋あみか	
	事務局	(出席人数：4人)	
		健康保険部長 河原伸介	
		健康課健康づくり担当主幹 横山記代子	
		健康課健康づくり担当 鈴木由貴	
		健康課健康づくり担当 藏富たまこ	
次第及び公開、一部公開、非公開の区分		議事（全て公開）	
		1 開 会	
		2 会長あいさつ	
		3 副会長選任	
		4 会議の公開について	
		5 議 事	
		(1) 第2次いきいきライフプランかすかべ 令和7年度事業実績・評価について	
(2) 第2次いきいきライフプランかすかべ 令和8年度事業計画について			
6 その他			
7 閉 会			

一部公開・非公開の 場合はその理由	☐ 要綱第3条第1号該当： ☐ 要綱第3条第2号該当： ☐ 要綱第3条第3号該当： ☐ 要綱第3条第4号該当：
配布資料	1. 令和8年度 第1回春日部市健康づくり推進審議会 次第 2. 資料 1 春日部市健康づくり推進審議会委員名簿 3. 資料 2 第2次いきいきライフプランかすかべ 令和7年度事業実績個票一覧 4. 資料 3 第2次いきいきライフプランかすかべ 令和8年度事業実施計画個票一覧 5. 追加資料 評価C・評価無し (令和7年度事業実績個票一覧より抜粋)
会議録の作製方法	☐ 録音テープ等を使用した全文記録
	☒ 録音テープ等を使用した要点記録
	☐ 要点記録
会議録署名の指定	会長

発 言 者	発 言 内 容・決 定 事 項
事務局	1 開会 委員・職員紹介
事務局	2 会長あいさつ
議長	3 副会長選任 事務局より案はあるか。
事務局	事務局より、これまでの春日部市健康づくり推進審議会の副会長を春日部市医師会の委員にお願いしていた。春日部市医師会の竹田委員にお願いしたい。
議長	全員から賛同を得られたため竹田委員へ副会長をお願いする。
議長 事務局	4 会議の公開について 傍聴人なし
議長	5 議事 (1)「第2次いきいきライフプランかすかべ 令和7年度事業実績・評価について」事務局から説明をお願いします。
事務局	<資料2、追加資料に基づき説明>
議長	ただいまの説明に対して、質問、意見等あるか。
委員	自殺対策評価Cの「生活困窮者への生活支援課への案内」、「生活困窮者自立支援事業（住居確保給付金）」の個票については、項目上は評価なしに該当するのではないかと。 頑張っただうにかなるものでも無く、やってもやらなくても結果的に、当該支援に対する評価を満たしていないと考えた場合、市の頑張りとは無関係なので、本事業の評価に対する統計学的分析からいえば評価なしとするほうがいいのではないかと思います。
事務局	いただいたご意見の通り、能動的に何かやって評価が上がるものではない。ご提案いただいた件を検討させていただいて評価方法を見直していきたい。
委員	自殺対策に関して、事業数、達成率がかなり上がったということだ

発 言 者	発 言 内 容・決 定 事 項
事務局	が、自殺に関して一番大事な指標は、自殺の数だと思う。その辺の状況はいかがか。 本市の自殺死亡者数は、令和 6 年度 32 名、令和 7 年度も、32 名で推移している。
議長	一番は 0 になることが、最も良いが、社会的状況を見ても 0 になることは難しい。数が増えなかったというのは 1 つの評価かなというふうに思う。事業自体はこのまま続けていくということは大切だと思う。引き続き、大変だとは思いますが、事業を進めてほしい。
議長	他に意見はあるか。 [質疑応答なし]
議長	(2)「第 2 次いきいきライフプランかすかべ 令和 8 年度事業計画」について事務局から説明をお願いする。
事務局	<資料 3 に基づき説明>
議長	ただ今の説明に対し質問、意見等あるか。
委員	追加資料評価 C で実施された事業は、令和 7 年度はどの辺で開催されて、令和 8 年度はどの辺で行う予定でいるか。
事務局	介護保険課の健康脳トレ塾に関しては、令和 7 年度は、大池憩いの家、武里、大枝市民センター、庄和南公民館の 4 ヶ所で実施していた。大池憩いの家と庄和南公民館は、集客が難しかったと聞いている。 今年度は、市民が行きやすい場所を選び、幸松市民センター、庄和の正風館、中央公民館、内牧南公民館で実施する。 また、介護予防講演会については、名称を変更したが、会場も再検討した。令和 7 年度は市内を回って開催していた。令和 8 年度は、市役所 1 カ所を会場として開催している。すでに開催した分に関しては、令和 7 年度よりも多くの方が参加している。評価 C となってしまった 2 月の栄養の回も期待できるのではないかと考えている。
委員	今の件に関しては、利便性の改善が図られ、皆が行ける場所を選定している。事業を成功させるという点では良いと思うが、一方で、行

発 言 者	発 言 内 容・決 定 事 項
	きやすい人しか来れないという点もある。今回やってみてその次の年は、更にこのサービスが届いていないところはないか見直し、新たな場所を選定されるのがよろしいのではと思う。
議長	他に意見はあるか。
委員	介護予防のえん J O Y トレーニングが独立したと聞いた。健康づくりは行政だけでは難しい部分がある。自分たちで自主活動ができるようになった分は任せ、余裕ができた分、他の事業に力を入れるというように、必ずしもすべて行政任せということではなく、住民の中から自主活動が生まれるところも、どんどんできてくるといいなと思うし、いい傾向かと思う。
委員	自殺対策について、厚労省と県が保有する所得水準と自殺者数の相関関係に関するメタ解析を行っている。これらのデータは公開されていないものの、生活困窮や心の健康問題と自殺リスクとの関連を把握していくことが大切だと思う。
委員	地区別で世帯収入が低い地域もある。そこの生活が困窮していると、自殺にも繋がり、当然心の健康や、生活習慣病も影響を及ぼす。世帯収入をどうフォローしていくか、対策が始まって 10 年、20 年ぐらいして自殺率が下がってきた。すぐに効果は出ないが、地道にやっていくということが大切。
議長	他に意見はあるか。
委員	高齢者の带状疱疹に関して、健康リスクが非常に高い。带状疱疹の予防には 2 種類のワクチンがあり、2 回接種することで効果が高いとされている。価格が高いため接種率の目標である 25% を達成できるかは難しい。自治会での話を踏まえると、高齢者に対してワクチン接種を推奨すべきという意見が強く、市や自治体による啓発活動や積極的な呼びかけが重要だ。
議長	今の点について、何かあるか。
事務局	带状疱疹の予防接種について、春日部市では定期接種と任意接種の両方を実施している。定期接種は 65 歳、70 歳など 5 歳刻みの年齢が対象である。ワクチンは 2 種類あり、金額面で負担があるため、市が助成制度を設けている。市民にはこれらをうまく活用して接種を

発 言 者	発 言 内 容・決 定 事 項
議長	受けてもらいたい。また、周知活動にも力を入れており、市のホームページや広報を通じて情報発信を行い、接種促進を図っている。他に意見はあるか。
委員	フレイルが原因で介護になる人が多い。何かイベント等実施する際には孫を巻き込んで実施してほしい。
議長	健康日本 21 では、誰 1 人取り残さずという目標を掲げている。今のように、他の手段（孫のように）を使って、きっかけを作っていくことが、高齢者の対策は、重要である。高齢者保健福祉計画の審議会の方と連絡をとり、協働という形で対策を考えていくことも大切であると思う。
議長	他に意見はあるか。 [質疑応答なし]
議長	以上をもって本日の議事を終了とする。
事務局	6 その他 委員の任期について、春日部市健康づくり推進審議会委員の任期は2年間となっており、令和8年9月30日をもって任期が終了となる。現在の任期中の審議会は、本日で終了となる。 次期審議会委員の推薦については、令和9年5月頃に各団体様あて依頼していく予定。
事務局 委員	7 閉会 副会長あいさつ
議事の顛末・概要を記載し、その相違なきこと証するためここに署名する。 令和 8 年 8 月 2 1 日 署名者の職・氏名 春日部市健康づくり推進審議会 会長 北畠 義典	